

## こんにちは、愛媛大学総合健康センター重信分室です



愛媛大学 総合健康センター重信分室は、医学部キャンパスや愛媛大学医学部付属病院のある、重信地区にあります。

重信地区には、医学科、看護学科、研究科の学生さん約 850 人が学生生活を送っています。また、学生さんを支える教職員の方々、病院スタッフを合わせて、1800 人近い方が、在職しています。

その、重信地区に平成 24 年 4 月より、愛媛大学総合健康センター重信分室が新設されました。

重信地区は、愛媛県松山市の隣町である東温市にあります。松山から南東へ車で 30 分ほどのところ です。

東温市は、南には西日本最高峰である石鎚山をはじめ、皿ヶ嶺連峰県立自然公園の山々が連なり、まちの中を北部から発する、一級河川である重信川が流れる、自然豊かなところ です。

キャンパスから、山々が見渡せ、気持ちをリラックスさせてくれます。

キャンパス内は、附属病院や職員宿舎などもあることから、小さなお子様からお年寄りの方まで、さまざまな方が行きかい、大学内ということをおぼろげに忘れてしまう風景がみられます。

松山自動車道、川内 IC からすぐです。お近くにいらっしゃることがありましたら、ぜひお立ち寄りください。



石鎚山



皿ヶ嶺連峰





## 重信キャンパスの四季



看護学科の前の桜



医学科からみた紅葉



医学科からみた冬の皿が峰連峰



皿が峰から見た愛媛大学重信地区





## 総合健康センター重信分室をご案内します♪



医学部キャンパスから見た、総合健康センター重信分室のある、職員福利棟です。医学部と附属病院の間にあります



総合健康センター重信分室は、職員福利棟 2 階にあります。

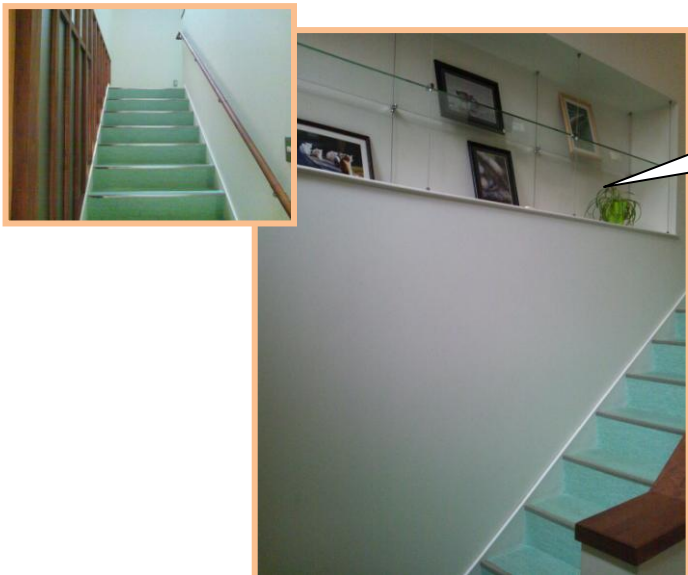
2 階へ上がると、職員用の男女休憩室とともに、産業医室と保健室があります。

平日 10 時～16 時を受付時間とさせていただいており、保健師の高松さんと私、看護師の土居で対応させていただいています。基本的に高松さんは職員担当、私は学生担当となっていますが、分室にいらっしゃる方、分け隔てなく、二人で対応するようにしています。不定期ですが、分室長の岡田先生も、産業保健相談や、診察をしています。6 月からは、急な処置が必要な方への対応として、分室支援医が決まり、5 人の先生が交代でサポートして下さることになりました。

新設されてから 2 か月、学生さんも 10 人近く訪れ、少しずつ、保健室らしくなってきたかなと思う今日この頃ですが、まだまだ、手探りのところも多く、試行錯誤しながら日々過ごしております。

医学部の学生さんは、将来、人の命を背負うという重要な役目を果たすべく、勉強に励んでいます。履修必須単位も多く、授業に実習に研究にと忙しい生活を送られているのではないかと思います。そんな中でも、学生さんが、体も心もおだやかに、ひとりひとりがその人らしく、学生生活を送れるよう、少しの力ですが、お手伝いできたらいいなと思っております。





職員福利棟に入り、階段をあげる途中に、教職員さんや学生さんが撮影した写真が飾られています。

2階にあがると、重信分室の入口が見えてきます♪



分室の外側には、掲示板を作って、健康診断のご案内や総合健康センターニュースなどを貼っています。



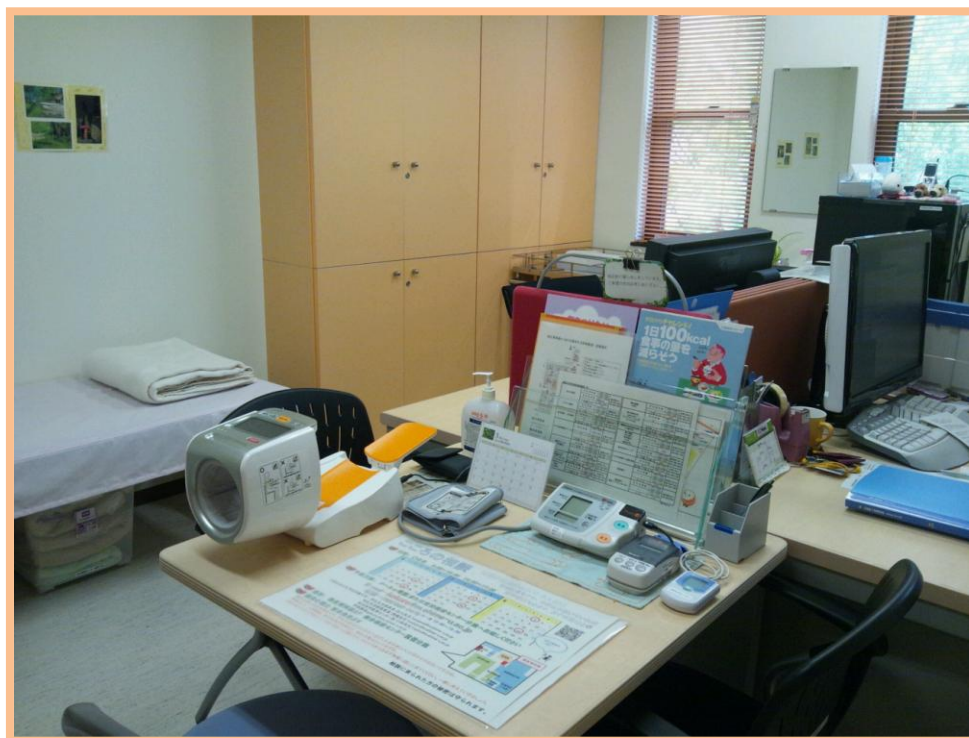


職員が利用する、職員福利棟ということもあり、迷いながらやってくる学生さんが多く、たどり着いたときに、わかりやすいよう気軽に声をかけてもらえるよう、入口に表示をつくりました。



保健室内です。

入口を入ると、すぐに血圧計・パルスオキシメーター・心電計が置いてあり、いつでも使用できるようになっています。



産業医室内です。産業保健相談に利用されています。



休養用として産業医室内・保健室内にそれぞれ一ずつベッドが置かれています。部屋が狭く至近距離にベッドがあるため、休養中の方がいる時は、部屋を暗くし、静かに過ごせるように気を配っています。



最後になりましたが、このたび、総合健康センター重信分室新設にともない、4月から愛媛大学で勤務をさせていただいております、看護師の土居です。

昨年8月に、15年近く住んでいた東京を離れ、主人の故郷である愛媛へ引っ越してきました。愛媛での生活が初めてなうえに、学校保健のお仕事も、初めてと初めてづくしで、緊張することもあります。周りの皆さんに助けていただき、楽しく勤務させていただいています。これから、さまざまな経験を通して、学校保健について、学んでいけたらと思います。第42回中国・四国大学保健管理研究集会に参加させていただく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。 土居 祥子